

こちゅう



倉敷春宵あかり 2017 に魅せられて (地域医療連携室 野田 祥平)

特集 第9回ケアカフェこじま

- 公開医療介護講座「簡単につくれるひな人形」
- 医療安全管理室コラム／ふれ愛ボランティア通信／オープンギャラリー
- 医療マネジメント学会に参加して
- 身近にある法律相談Q&A／食材の底力（マンゴー）
- 実習生インタビュー（リハビリテーション科）／アートプロジェクト
- 3月診療予定表／当番医のお知らせ

テーマ 「診療情報の多職種活用」

平成 29 年 2 月 24 日 (金) 18 時 30 分より、当院 2 階多目的ホールにて、第 9 回目となる多職種連携勉強会・交流会ケアカフェを開催しました。例年春先の開催は参加者が少ないのですが、今回は 40 名近い方々にお越しいただき、難しいテーマにも関わらず活気のある交流を深めていただくことができました。

今回のテーマは「診療情報の多職種活用」。日頃から他機関、他施設、多職種間において情報のやり取りは必要不可欠となっています。しかしながら、相互に必要なとしている情報に齟齬が生じたり、擦り合わせが再度必要になったりすることも多々あります。こうした内容をふまえ、どうすればより良い情報収集ができるかについて、各グループでの活発なトークが繰り広げられ、盛況にて終了することができました。

ゲストスピーカーの、岡山市立総合医療センター 法人本部 秘書課主任 中田 悠太氏に話題を提供していただき、診療情報共有の難しさ、事例をふまえた開示対応、さらには、医療機関が気にしていること（平均在院日数や看護必要度）晴れやかネットの紹介などを織り交ぜ、取り扱う情報は多方面に関係することがあるとレクチャーしていただきました。

テーブルごとに時間の許す限り多くの意見交換や課題共有を行い全体でシェアリングし、参加者全員による恒例の記念集合写真で締めて今回も

各々の繋がりを称え合うことができました。ご参加いただいた皆様、関係各位のご理解とご協力に厚く御礼申し上げます。

今後も地域の多職種の皆さんとより良い円滑な連携・協働を進め、さらなる発展・充実を目指した企画運営を行ってまいりますので、次回も多くの方にご参加いただきますよう宜しくお願いします。

(地域医療連携室係長 安田 浩二)



▲ゲストスピーカーの
中田 悠太氏



【参加者数】

36 名 (院外 20 名、院内 16 名)

【職種別】

MSW・相談員 3 名、ケアマネ 2 名、
保健師・看護師 6 名、PT5 名、OT1 名、
薬剤師 2 名、介護福祉士・介護職 1 名、
診療情報管理士・その他事務職 14 名



▲第9回ケアカフェこじま 参加者全員で恒例の記念撮影



Reminiscence 公開医療介護講座 2月度

「簡単につくれる ひな人形」



2月14日(火)午後2時より当院多目的ホールにおいて公開医療介護講座を開催しました。

今回はいつもの座学ではなく、川崎医療福祉大学医療福祉デザイン学科ホスピタルデザインコース専攻学生がワークショップを行いました。

当日は、入院患者さんや利用者十数名の方々にご参加いただき、学生のみなさんは児島に因んでジーンズを着用してくださいました。ワークショップでは、紙コップを使って簡単に作れるひな人形を作成しました。難しそうな工程や危険な手順はあらかじめ避け、上手くできない方にも学生さんがひとり一人に声を掛けて丁寧に笑顔で接していたのが印象的でした。おかげで、参加された方々全員から、学生の皆さんに感謝の声をいただくこともできました。



今回のワークショップに際して告知用のポスターを見島駅構内に掲示していただいております。今回作成したひな人形は、倉敷市全域で開催されている「倉敷雑めぐり」の一環として「見島駅雑まつり」にて展示中です。お近くの方は、是非ご覧になってください。(地域医療連携室 広報・渉外担当 友定 愛)





医療マネジメント学会に参加して

2017年2月18日(土)、川崎医科大学現代医学教育博物館にて、日本医療マネジメント学会第18回岡山県支部学術集会があり、今回、減災チームでこの学会へ参加して参りました。学会テーマは、『災害から学ぼう～医療と暮らしの連携～』でした。

メンバーは、臨床工学技士、看護師、MSW、放射線技師、リハビリセラピスト、事務職など他職種で構成しています。このメンバーでの学会参加の目的は、同じ方向を向き、同じ意識で、減災に取り組んでいくための一環という事でした。当院では、年次法定電気設備点検時の停電訓練に伴う消防参加や院内避難訓練、減災チームでの研修会などを行っていますが、院内ス



タッフ全員に対して今後どのようにするべきか、強い意識を浸透させるため、組織的な擦り合わせの充実が急務となっています。いつ起こるか分からない南海トラフ地震や、火災・津波など様々な環境の中でも、職員が安全に安心して働ける職場作りをしなければ大切な患者さんの命は守れません。当院では、リスクマネジメント委員会の活動において、「抑制チーム」、「医薬品チーム」、「安全情報チーム」、「減災チーム」の4チームでスタッフが自らリスク感性を高めながら、医療安全に取り組んでいます。

今回、学会発表の中での他施設の取り組み事例は当院においても実践できることや、すでに取り組んでいる内容などもありましたが、特別講演(「被災するという体験」, 近藤麻理先生：東邦大学看護学部教授・川崎医療短期大学客員教授)のお話しの中で、『平時にできないことは災害時にはできない』、『防災に対する心の準備』、『想定を信じない』、『最善を尽くす』などのポイントに深く共感するとともに、今後の道標になるような内容でした。

院内においては全ての部署と常に連携を保ち、院外においては地域社会との連携を保つ、当たり前のことですが、今後もしっかり良い関係づくりに邁進していきたいと思えます。

(リスクマネジャー 副看護部長 山中 昌子)





理学療法士 (PT) 実習生にインタビューしました！



実習では、理学療法士、作業療法士の方々の治療の様子を見学し、患者さんが自宅復帰した後のことも考えたプログラム、他職種の方々と何度も情報交換を行い普段の患者さんの様子や状態を確認し合いどのようなゴールに向かっていか模索していくことの大切さを学ぶことができました。見学させていただいた先生方のような患者様の退院した後の生活を考えた治療を行なえる理学療法士になりたいと思っています。3週間の実習期間で先生方には学校ではできない体験をさせていただきました。ありがとうございました。

(朝日医療大学 理学療法学科 昼間部 3年 藤原 一生)

はじめての臨床実習で、かなり緊張していましたが、現場で患者さんの優しさ、スタッフの姿勢に触れることで、学校では出来ない体験ができ、3週間で成長して学校に戻ることが出来ました。当院では、年間を通じてリハビリテーション部門の実習生をお受けし、指導する事で自身の成長、後輩の育成に取り組んでいます。

(リハビリテーション科 主任 (PT) 松本 紀子)



ホスピタルアートプロジェクト開催中!!

川崎医療福祉大学医療福祉デザイン学科の3年生によるアートプロジェクトが「瀬戸内海^{うみ}の健康レシピ」と名打って開催されています。

アートプロジェクトを当院で開催するという話があったから早7ヶ月が経過しました。普段は何の変哲もない外来の待合が、今回の学生さんとの協力によりアメニティーの向上が実現しました。人と人の繋がりをコンセプトに当院の待合スペースを利用し、カッティングシートによる装飾や、瀬戸内で獲れる魚を使用した健康レシピの展示などを行っていただきました。「会話が弾み、コミュニケーションを図るきっかけ作りになると嬉しい」との大学生からの声で、瀬戸内の海をイメージした仕上がりになっています。“さわら”と“たこ”を使ったレシピを各2種類用意してくれています。今回のレシピは、川崎医療福祉大学臨床栄養学科2年生の学生の皆さんの協力も得て実際に試食を行い好評を得ています。皆さんも是非健康レシピをご自宅で試してみたいはいかがでしょうか。今回の開催は、当院1階外来待合フロアにて、2/17(金)～3/16(木)まで開催していますので是非お立ち寄りください。

(地域医療連携室 広報・渉外担当)





医療安全管理室コラム 「子ども予防接種週間」



今回は子ども予防接種週間についてご紹介します。子ども予防接種週間は保護者を始めとした地域住民の予防接種に対する関心を高め、予防接種率の向上を図ることを目的として制定されました。VPDとは"ワクチンで防げる病気"のこと Vaccine(ワクチン) Preventable(防げる) Diseases(病気)の略です。子どもたちがかかりやすいVPDには、下記のようなものがあります。

4月からの入園・入学に備えて、必要な予防接種を済ませましょう。予防接種に関するお問い合わせは外来でお受けいたします。お気軽にご相談ください。

(医療安全管理室 感染管理専従師長 藤森 優子)

ワクチンで防げる主な病気

- B型肝炎 ● ロタウイルス感染症(胃腸炎) ● ヒブ感染症 ● 肺炎球菌感染症 ● ジフテリア
- 破傷風(はしょうふう) ● 百日せき ● ポリオ ● 結核 ● 麻しん(はしか) ● 風しん
- おたふくかぜ ● みずぼうそう ● 日本脳炎 ● インフルエンザ ● ヒトパピローマウイルス感染症
- A型肝炎 ● 髄膜炎菌感染症 ● 黄熱病 ● 狂犬病



琴浦ふれ愛・ボランティア通信

2月15日(水)、当院多目的ホールにてボランティアグループ「琴浦ふれ愛」の皆さんと一緒に「お雛さまの壁掛け飾りづくり」をしました。いつもとは趣向を変えたレクリエーションとなり、参加者はボランティアの皆さんの協力をいただきながら楽しく作成されていました。



倉敷市では、「倉敷市」50周年記念行事として、5つの地区に於いて「倉敷雛めぐり」を開催しています。児島地区でもジーンズ雛、学生服雛、畳縁雛、帆布雛など勢ぞろいしています。3月12日(日)まで、旧野崎家住宅、野崎家別邸迢暇堂、児島市民交流センター、児島産業振興センター、鷺羽山ビジターセンター、むかし下津井回船問屋、JR 児島駅から野崎家までの商店街で開催されています。

(地域医療連携室 広報・渉外担当 野田 祥平)



ようこそ!! オープンギャラリー 「癒しの空間」へ

春のたよりを聞くこの頃、イベント案内の雛めぐりのページが目に入ります。当病院内にも、お雛様を飾っております。お雛様とは、女の子のおまつり、節句ですが、日本の郷土に伝わる人形には子の誕生を祝いそのすこやかな成長と厄除けの祈願が込められております。今子育て中の方、子どもが手から離れた方など、過去、現在、未来のちがった立場でも心のゆとりを感じ観覧していただければ嬉しいです。

(外来スタッフ)





アパートの原状回復はどこまですればよいか？

私は、3年前に家賃5万円、敷金2か月分で今のアパートに入居しましたが、今回、近くに新築のアパートが建ったので、引っ越そうと思います。退去にあたって、大家さんに敷金の返還を求めたいと思いますが、敷金からはどのような費用が差し引かれるのでしょうか。入居した時以来、目にすることのなかった契約書を見てみると、「室内全体のハウスクリーニングの費用を敷金から控除する」とありました。この費用が敷金から差し引かれると、ほとんど敷金が返ってこないのではないかと思います。契約書にある以上、差し引かれることは仕方がないのでしょうか。



通常の使用を越える使用によって毀損・汚損が発生した場合の修繕費用が賃借人の負担となります。

賃借人は、賃貸借契約終了の際には、借りたものを原状に回復して賃貸人に返還する必要があります。これを原状回復義務と言います。この原状回復義務には、自ら取り付けた物を取り外すことなどは含まれますが、借りて古くなった物を新品にして返す義務までは含まれません。建物の一室を借りるような場合、通常の使用に伴って借りた部屋が経年変化により古くなるのは当然です。経年変化や自然の劣化などによって、部屋の価値が減少する分については、賃料収入によってカバーされていると考えられており、原状回復義務の対象にはあたりません。タバコの焼け焦げのような、通常の使用を越えるような使用によって毀損・汚損が生じた場合の修繕費用が賃借人の負担となります。

ご質問のような、室内全体のハウスクリーニング費用を差し引くとの条項が契約書の中にあつたとしても、契約書の条項のとおり、敷金から控除されるとは限りません。室内全体のハウスクリーニング費用は、賃借人が通常の清掃（ゴミの撤去、掃き掃除、拭き掃除、水回り、換気扇、レンジ回りの油污れの除去等）を



森脇法律事務所
弁護士 飯生 明



実施している場合には、賃貸人が次の入居者を確保するために実施するものであり、賃貸人が負担することが妥当と考えられます。それゆえ、室内全体のハウスクリーニング費用は、特約があっても、原則として敷金からの控除はできないと考えられます。

原状回復の範囲がどこまで及ぶのかについては、国土交通省住宅局から「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」が公表されており、様々な費用につき、賃貸人と賃借人のいずれが負担すべきかについて、詳細に考え方を示していますので、ぜひ参考になさってください。

森脇法律事務所

〒700-0816 岡山市北区富田町一丁目2番13号

TEL : 086-226-1215 FAX : 086-226-1239

MAIL : info@moriwaki-lawoffice.com



マンゴー

これからの時期、旬をむかえるマンゴー。マンゴーにはビタミンAが豊富に含まれています。ビタミンAは、視力の維持、皮膚や粘膜を健康に保つ、動脈硬化・風邪・がんを予防するなどの効果があります。選ぶポイントは、果皮にしっかりとツヤがあり、色鮮やかでふっくらしているものを選びましょう。シワがあるものや黒い斑点があるもの・ハリがないものは鮮度が落ちているので避けたほうがよいです。

(栄養管理科)

外来診療予定表 (3月)

診療科	診療時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
内科	午前	☆	山本真也		大貫敬三	鏡原康介	大貫敬三	
		☆	木村泰彦				山本真也	
	午後	☆	鏡原康介	木村泰彦	山本真也	木村泰彦	非常勤医師 第2・3・4・5	
	夜診	18:00~20:00	内科系医師	内科系医師	内科系医師	内科系医師	内科系医師	
糖尿病外来 (内科と併診)	午前	☆					中山富雄	
	午後	☆					中山富雄	
呼吸器内科	午前	☆		阿部公亮		池田征樹	非常勤医師	
胃腸内科	午前	☆	大貫敬三					
※① 循環器内科	午前	☆	古山輝将 (9:00~12:00)		鏡原康介	岡本公志	玉田智子 (9:00~11:30)	循環器内科医師 第1・4
	午後	☆	古山輝将 (13:30~16:30)		鏡原康介	岡本公志 (13:30~16:30)		
総合診(内科系)	午前	☆		院長 田邊秀幸		古谷保		
小児科	午前	☆	中島英和	中島英和	中島英和	中島英和	中島英和	中島英和
	午後	13:30~14:30	予防接種 アレルギー 乳幼児健診	◎	予防接種 アレルギー 乳幼児健診		予防接種 アレルギー 乳幼児健診	予防接種 アレルギー 乳幼児健診
	午後夜診	15:30~20:00	中島英和		中島英和		中島英和	中島英和 (14:30~17:00)
外科	午前	☆	宮本善文	院長 田邊秀幸	院長 田邊秀幸 (8:30~10:00)	宮本善文	宮本善文	院長 田邊秀幸
	夜診	18:00~20:00	院長 田邊秀幸	院長 田邊秀幸	院長 田邊秀幸	院長 田邊秀幸	外科系医師	
※② 整形外科	午前	☆	加川明彦		加川明彦		加川明彦	加川明彦 第2・4
	午後	13:30~16:30	加川明彦	渡邊良	加川明彦		加川明彦	
脳神経外科 脳卒中科	午前	☆	木村知一郎	木村知一郎 (8:30~10:00)	木村知一郎		木村知一郎 (第3金8:30~10:00)	
脳卒中科	午前	9:00~11:30				植村順一		
耳鼻 いんこう科	午前	☆	東川康彦	東川康彦	東川康彦	東川康彦	東川康彦	
	午後	14:30~17:00	東川康彦			東川康彦	東川康彦	
形成 美容外科	午後	14:00~17:00					宗内巖 第1・3	
皮膚科	午前	9:30~12:00	桑原千晶			山本佳子		
泌尿器科	午前	10:00~12:00					非常勤医師	
婦人科	午後	15:00~17:00				非常勤医師		
放射線科	午前	☆			小國達郎	小國達郎		
	午後	☆			小國達郎	小國達郎		
※③ 歯科 歯科口腔外科	午前	☆	山本・猿山	猿山・田中	田中・猿山	猿山・米満	田中・仲田	猿山・田中
	午後	☆	山本・猿山	猿山・田中	田中・猿山	山本・米満	田中・仲田	田中輝
	夜診	18:00~20:00	猿山雅典		田中輝		田中輝	
健診 (予約のみ)	午前	☆	東良平	藤井守	小國達郎	小國達郎	東良平	佐藤暢
	午後	13:30~16:00	東良平	藤井守	小國達郎	婦人科健診 のみ	東良平	

※①…循環器内科は月・水・木・金・第1土曜日は予約制となります。
 ※②…整形外科の診療(午後診)は手術のため、急遽休診となる場合があります。
 ※③…歯科の受付時間は各日ともに診療終了時刻の1時間前となります。
 ◎……予防接種・乳幼児健診・アレルギー・検査日(13:30~17:00)
 ☆……午前8:30~12:00・午後13:30~17:00

児島中央病院だより

平成29年3月1日発行(毎月発行)
 発行責任者: 田邊 秀幸
 編集責任者: 山田 達也

当番医の
お知らせ

3月19日(日)は、地区の当番医です。

地域医療連携室
 TEL(086)473-7815
 FAX(086)473-7816



医療法人医誠会
児島中央病院

〒711-0912 倉敷市児島小川町 3685 番地
 代表 (086) 472-1611 FAX (086)474-3148

<http://www.kojimach.or.jp>